

COD要求値の意義の検討

(FTR委員会中間報告)

昭和58年2月

社団法人 日本溶接協会 鉄鋼部会
技術委員会 F T R 委員会

目 次

委員会構成	2
1. はじめに	3
2. 研究の背景	3
2.1 破壊パラメータの算定式について	3
2.2 破壊パラメータの算定式の検討に関する従来の研究	4
2.3 破壊パラメータの算定式に関する問題点	5
3. 研究内容の概要	6
I 表面き裂の等価欠陥寸法の検討	7
I-1 表面切欠材の純曲げ試験	7
I-2 表面切欠材の引張試験	8
I-3 表面切欠材の引張曲げ試験	9
I-4 残留応力付き表面切欠試験	11
II-1 スチフナ型モデル試験	13
II-2 円孔端貫通切欠試験	14
II-3 円孔端表面切欠試験	15
II-4 隅肉トウ部表面切欠試験	16
III COD試験片への予き裂導入条件の検討	17
IV 基礎試験	20
4. 研究結果中間報告	22
参考文献	22
表・図	23

F T R 委 員 会 構 成

主 査	町 田 進	東京大学工学部船舶工学科
幹 事	萩 原 行 人	新日本製鉄(株)製品技術研究所材料破壊研究室
〃	梶 本 勝 也	三菱重工業(株)広島研究所強度研究室
〃	吉 成 仁 志	東京大学工学部船舶工学科
委 員	安 藤 柱	横浜国立大学工学部エネルギー材料研究施設
〃	小 倉 信 和	横浜国立大学工学部エネルギー材料研究施設
〃	金 田 重 裕	東京大学工学部船舶工学科
〃	藤 井 英 輔	船舶技術研究所溶接工作部溶接力学研究室
〃	豊 田 政 男	大阪大学工学部溶接工学科
〃	宮 田 隆 司	名古屋大学工学部鉄鋼工学科
〃	青 木 真 一	川崎製鉄(株)製鋼・鋼材技術部
〃	中 野 善 文	川崎製鉄(株)技術研究所厚板研究室
〃	青 木 満	(株)神戸製鋼所技術開発本部構造研究所
〃	石 沢 隆 夫	(株)神戸製鋼所鉄鋼生産本部鋼板技術部
〃	笠 松 裕	(株)神戸製鋼所加古川製鉄所鋼板開発部
〃	浦 辺 浪 夫	日本鋼管(株)技術研究所強度研究室
〃	田 中 明 広	日本鋼管(株)鉄鋼製品技術部
〃	渡 辺 之	日本鋼管(株)技術研究所第3研究部溶接研究室
〃	大 野 章	新日本製鉄(株)技術企画管理部
〃	有 持 和 茂	住友金属工業(株)中央技術研究所溶接研究室
〃	住 友 芳 夫	住友金属工業(株)第2製品技術部
〃	岩 館 忠 雄	(株)日本製鋼所鉄鋼重機事業本部研究部
〃	小山内 真 二	(株)日本製鋼所開発技術本部
〃	小野塚 正 一	石川島播磨重工業(株)技術研究所構造強度部
〃	酒 井 啓 一	石川島播磨重工業(株)技術研究所構造強度部
〃	糸 賀 興 右	川崎重工業(株)技術研究所溶接研究室
〃	矢 貫 徹	東京芝浦電気(株)重電技術研究所金属技術グループ
〃	中 川 喜 矩	トーヨーカネツ(株)タンク事業部溶接研究室
〃	豊 貞 雅 宏	日立造船(株)技術研究所強度研究室
〃	松 下 久 雄	三井造船(株)千葉研究所溶接研究室
〃	矢 島 浩	三菱重工業(株)技術本部長崎研究所 船体強度研究室